

切手購入調査へ

「百条委設置を」

市川市議会が決議

市川市議会の政務活動費支出に関して市の個別外部監査で不適正と指摘された問題について、市議会は17日、切手を購入した議員の調査を求める決議案を可決した。百条委員会を設置

し、自主返納の意向を示していない市議について調べることが求めている。

決議案は退席を求められた小泉文人議員を除く40人全員が賛成した。小泉氏は議会事務局に対して2011～13年度に在籍していた会派でアンケートを実施し、その郵送のため切手を購入したと報告している。決議では「切手は本当に

使用されたのか疑義が解明されていない。他会派が返納へ向けた手続きを進めているが、小泉氏は無視している」と指摘。百条委の調査で用途を明らかにするとしている。

小泉氏は取材に対して「外部監査の調査が整合性を欠いており、自主返納を拒否しているわけではない。百条委で適正にやって

いることを説明する」と述べた。

これまで「共産」「みらい」「民主・連合・社民」の3会派が計約370万円を自主返納し、「みんな」「自民」「緑風会第1」の3会派が返納の意思を示している。また切手を大量購入した各議員に対して自発的に速やかな説明を求める決議も可決された。